わたしから始める、世界が変わる

Hunger Zero News

2019.10
No.351

ハンガーゼロ・ニュース

1分間に17人（内12人が子ども）
1日に2万5,000人が
1年間では約1,000 万人が
飢えのために生命を失っています

カンボジアの学校図書館で学ぶ子
2020 年国際協力カレンダーより

Contents

世界食料デー大会開催中 全大会日程 P.2
東京基督教大学
フィリピン異文化実習参加者体験記 P.4-5
【ボリビア特集】 P.6-7
●WFD 報告者小西駐在スタッフに聞く
●アサワニ地区活動報告

2019「世界食料デー」大会開催中
WORLD FOOD DAY

みんなで参加しよう!!

ハンガーゼロ（日本国際飢餓対策機構）は、10月16日の「世界食料デー」（国連）に合わせて、9月28日の南大阪大会を皮切りに11月下旬まで、同実行委員会の協力のもと全国の28会場で「世界食料デー大会」（後援：国連食糧農業機関駐日連絡事務所）を開催しています。

各地の大会では、活動地のスタッフや講演者らによる飢餓・貧困の現状や問題解決に向けた取り組み事例の紹介、音楽ゲスト（ハンガーゼロ親善大使も含む）の出演などが行われます。また、世界や国内の児童からの作品を紹介する「国際児童画展」やフェアトレード商品、地元の農産物の販売コーナーなども設けて、子どもから大人まで楽しみながら参加できるようになっています。

今年の世界食料デー大会は**「ちきゅう大家族　～75億人の食卓～」**がテーマです。

世界では75億人が食べられるだけの食料があるにもかかわらず、9人に1人が飢餓や栄養不足で苦しんでいます。同じ食卓につきながら、食べることのできない「ちきゅう家族」に私たちは今何ができるでしょうか？ 大会参加を通じて、一人一人が行動する日にしていくことを願っています。

ハブラシを持参すれば募金になります！

また、今回は初めての取り組みとして「ハブラシのリサイクル」による寄付を実施します。全会場に「回収ボックス」を設置しますので、ご家庭で使用済みのハブラシ（掃除に使用したものも可）を持参していただき、ご協力ください。回収したハブラシは、テラサイクルジャパンが買い取り（1本につき約2円の寄付になります）、プランターなどにリサイクル加工されます。なお、ホテル等で支給されるものや電動ハブラシ、天然毛、歯間ブラシは回収できませんのでご注意ください。

2019世界食料デー「1食募金」の主な募金先

① インドネシア：母子栄養改善
② コンゴ民主共和国：共同農園・家畜飼育支援、地域リーダー育成
③ ケニア：学校トイレ・貯水タンク支援
④ フィリピン：子ども教育支援、地域リーダー育成

募金の方法
郵便振替 00170-9-68590 一般財団法人　日本国際飢餓対策機構　「世界食料デー募金」と明記してください。ウエブサイトからも募金ができます。

2019 世界食料デー大会　開催スケジュール

地区	大会	開催日	時間	主な内容	会場
北海道	札幌	10/26㊏	9:30	9時半/展示・水産加工品販売　13時/講演（ハンガーゼロ[illegible]）音楽（ハンガーゼロ親善大使　ナイトdeライト）	北星学園女子中高 スミス記念講堂
宮城	多賀城	9/29㊐	14:00	講演（NPO法人いのちのパン大友幸証／ハンガーゼロ田村治郎）音楽（ゴン・ミン）	多賀城市文化センター 展示室
	仙台	10/19㊏	13:30	講演（ハンガーゼロ[illegible]）（地域支援ネット[illegible]）	日本聖公会　仙台基督教会
千葉	千葉北	10/5㊏	10:00	講演（ハンガーゼロ[illegible]）現地報告（コンゴ民主駐在ジェローム・カセバ）音楽（アルパと歌）	アミュゼ柏クリスタルホール
東京	Tokyo WFD+Gospel	10/22㊋	15:30	14:30ロビー販売　15:30現地報告（FHアジア地域プロジェクトマネージャー アンドレア・ダンツ）音楽（[illegible] 他）※参加費要	お茶の水クリスチャンセンター 8F
神奈川	横浜	10/12㊏	13:00	展示 10：30-16：00　現地報告（ボリビア駐在小西小百合）音楽（ゴスペルコンサート）	横浜市栄公会堂
静岡	浜松	11/9㊏	14:00	講演（ハンガーゼロ[illegible]）現地報告（ボリビア駐在小西小百合）音楽（グレイスキッズクワイヤー・[illegible]）	浜松ホーリネス教会
愛知	名古屋	10/19㊏	14:00	現地報告（FHアジア地域プロジェクトマネージャー アンドレア・ダンツ）音楽（ボイス・オブ・ビジョン）	南山大学
滋賀	滋賀	10/13㊐	14:00	講演（FHアジア地域プロジェクトマネージャー アンドレア・ダンツ）音楽（ニコラーズ、Zip Code 604、[illegible]）	近江福音自由教会
京都	京都	11/3㊐	16:00	講演（ハンガーゼロ近藤高史）※参加費要　現地報告・音楽（ハンガーゼロ親善大使　ナイトdeライト）	長岡福音自由教会
大阪	南大阪	9/28㊏	14:00	現地報告（ボリビア駐在小西小百合）[illegible]	テクスピア大阪　大ホール
	@きりたん	10/3㊍	10:40	講演（ハンガーゼロ清家弘久）現地報告・音楽（ハンガーゼロ親善大使　ナイトdeライト）	大阪キリスト教短期大学
	北大阪	10/20㊐	14:30	講演（ハンガーゼロ清家弘久）現地報告（コンゴ民主共和国駐在ジェローム・カセバ）	茨木聖書教会
	東大阪	10/26㊏	14:00	講演（ハンガーゼロ安達俊平）音楽（ハンガーゼロ親善大使ソン・ソルナム）	大阪シオン教会
	八尾河内	11/2㊏	14:30	講演（ハンガーゼロ安達俊平）※参加費要　現地報告・音楽（ハンガーゼロ親善大使　ナイトdeライト）	グレース宣教会グレース大聖堂
奈良	奈良北	10/19㊏	13:30	講演（ハンガーゼロ[illegible]）現地報告（コンゴ民主共和国駐在ジェローム・カセバ）音楽（[illegible]）	日本キリスト教団　奈良高畑教会
	奈良南	10/20㊐	14:30	講演（ハンガーゼロ[illegible]）現地報告（ボリビア駐在小西小百合）音楽（[illegible]／ファニーヴォイス）	基督兄弟団大和教会
兵庫	芦屋	10/6㊐	14:00	講演（ハンガーゼロ清家弘久）現地報告（コンゴ民主共和国駐在ジェローム・カセバ）音楽（県立芦屋高等学校吹奏楽部）	芦屋福音教会
	宝塚	10/19㊏	14:00	講演（ハンガーゼロ近藤高史）現地報告（ボリビア駐在小西小百合）音楽（ゴスペルクワイヤー "Grace of Heaven"）	宝塚栄光教会
高知	須崎	11/9㊏	14:00	講演（ハンガーゼロ安達俊平）パフォーマンス（[illegible]・手話劇団）	須崎市立市民文化会館
広島	広島	10/6㊐	14:30	講演（ハンガーゼロ田村治郎）※参加費要　現地報告・音楽（ハンガーゼロ親善大使　ナイトdeライト）	広島バプテスト教会
山口	柳井	10/5㊏	14:00	講演（ハンガーゼロ田村治郎）※参加費要　現地報告・音楽（ハンガーゼロ親善大使　ナイトdeライト）	やないグレースチャペル
福岡	関門	10/27㊐	16:00	講演・現地報告（ハンガーゼロ田村治郎）音楽（[illegible] ピアニスト、シンガーソングライター）	クライストコミュニティ北九州チャペル
鹿児島	鹿児島	10/26㊏	14:00	現地報告（ボリビア駐在小西小百合）地元報告（フードバンクかごしま・かごしまホームレス生活者支えあう会）音楽（[illegible]・YMCAチアダンスチーム）	サンエールかごしま
沖縄	沖縄北部	10/19㊏	15:00	講演（ハンガーゼロ田村治郎）音楽（ハンガーゼロ沖縄アンバサダー Saki／ゴスペルラップ TIM-NLJ）	名護栄光幼稚園
	沖縄中部	11/9㊏	14:30	講演（ハンガーゼロ田村治郎）音楽・報告（ハンガーゼロ沖縄アンバサダー前田進一郎）音楽（県立コザ高等学校吹奏楽部）	うるま市健康福祉センター・うるみん
	沖縄南部	11/10㊐	14:30	講演（ハンガーゼロ田村治郎）音楽・報告（ハンガーゼロ沖縄アンバサダー前田進一郎）音楽（ハンガーゼロ沖縄アンバサダー東江千鶴/Saki）	那覇バプテスト教会
	沖縄宮古	11/24㊐	16:00	講演（ハンガーゼロ田村治郎）音楽（県立宮古高等学校吹奏楽部）呼びかけ（こども親善大使）	宮古バプテスト教会

※日程・会場など変更する可能性があります。ハンガーゼロのホームページをご覧ください。※FH＝国際飢餓対策機構

2019 世界食料デー大会　現地報告者
アンドレア・ダンツ［FHアジア地域プロジェクトマネージャー］
【ハンガーゼロ駐在員】
ジェローム・カセバ［コンゴ民主共和国］
小西小百合［ボリビア多民族国］
※それぞれ出演する大会は日程表でご確認ください

アンドレア　ジェローム　小西

♪ハンガーゼロ親善大使
● ソン・ソナルム（東大阪）
● ナイトdeライト（[illegible]）

♪ハンガーゼロ沖縄アンバサダー
● 前田進一郎（沖縄中・南部）
● 東江千鶴（沖縄南部）
● Saki（沖縄北・南部）

▶ P.7 に小西スタッフのインタビュー記事

建築業界 SDGs（持続可能な開発目標）拡大キャンペーンを実施

八尾トーヨー住器さんがハンガーゼロを応援

アルミサッシを中心とした建築資材の販売や木造建築工事業を営む「八尾トーヨー住器株式会社」では、2017年から行っている地域貢献型イベント「こころプロジェクト」開催の経験を生かし、以下の要領で SDGs 拡大キャンペーンを実施しています。

キャンペーンは建築資材メーカー株式会社 LIXIL の協賛の元、対象商品を八尾トーヨー住器株式会社から購入すると LIXIL 社から支援金が支払われ、その支援金を NGO、NPO 団体を通じて国際社会の目標達成に役立てようというものです。

今回はその 1 団体としてハンガーゼロが選ばれました。キャンペーン期間は 2019 年 10 月 1 日から 12 月 28 日の 3 ヶ月間です。

●金子社長が「関西」工務店支援 EXPO で講演

八尾トーヨー住器㈱は八尾市の本社に 2019 年 1 月から、ハンガーゼロ自販機を 2 台設置して、飢餓のない世界の実現に協力してくださっています。また、2019 年 9 月 25 日～ 27 日にインテックス大阪で開催された、第 1 回「関西」工務店支援 EXPO では、代表取締役社長の金子真也氏が「なぜ今 SDGs なのか？建築業界におけるサステナブル社会実現への戦略」と題した主催者セミナーに登壇、中小企業、中小工務店だからこそ SDGs に取り組むべき理由を話されました。

金子社長

【お問い合わせ先】
八尾トーヨー住器株式会社
大阪府八尾市恩智南町 2 丁目 6 番地
インナーセールス部
SDG s推進リーダー：今中泰俊
TEL:072-943-6881 FAX:072-943-7639
E-mail: imanakay1@yaotfc.com
ホームページ：https://www.yaotfc.com

食品ロス解消と社会貢献をマッチング

SNS投稿で寄付ができる日本初の「食のシェアリングアプリ」

～ハンガーゼロに募金ができます～

このほど株式会社 tabekifu（タベキフ）が、食品ロス解消に協力している飲食店の料理・食材を、アプリでユーザーとマッチングすることにより、食品ロスの解消と、SNS 投稿で寄付ができる「食のシェアリングアプリ」を開発。10 月中をめどにスマホユーザー向けにアプリを無料配信する準備をしています。

このアプリには①食事の割引やポイントが付与②社会貢献団体(10 団体）に寄付ができるという機能があります。ハンガーゼロは募金先に入っています。同アプリが公開されましたら、お試しいただき、利用の際はハンガーゼロへの募金をお願いします。

『tabekifu（タベキフ)』詳しくはこちらへ
・ホームページ　https://tabekifu.co.jp
・フェイスブック　https://www.facebook.com/tabekifu2019
・インスタグラム　https://www.instagram.com/tabekifu2019

【東京基督教大学】
フィリピン異文化実習7/8-8/2
参加者体験記

コミュニティで手工芸品の職業体験で交流

■ TCU 東京基督教大学の学生 3 名が異文化実習として国際飢餓対策機構フィリピン (FHP) の活動地のビコール地方に約 1 ヶ月間滞在しました。FHP が支援している学校を訪問して子どもたちと話したり、支援先の家庭を訪問して食事を共にしたり、職業体験をしたり、様々な活動をさせていただきました。支援地の人々は私たちが思ってもみないくらい喜んでもてなしてくださいました。「本当の貧しさ」について立ち止まって考える時となりました。1 ヶ月間滞在することによって、文化に触れ、現地の人に寄り添うことができました。また様々なことを肌で感じることもできました。そして子どもたちをサポートすること、活動地をサポートすることがどれほど価値のあることで、どんなに素晴らしいことか知りました。学生たちにとって、この瞬間でしか学べない貴重な体験となったと思います。
参加者からのレポートをお届けします。(同行 高濱スタッフ)

物よりも貧困脱却のノウハウ

東盛(ひがしもり)　空(そら)さん

フィリピンは貧困国であるということは前から聞いていた。メディアは、フィリピンは自然災害が多い国であることや紛争地域があるが故に、貧困があると紹介している。しかし、訪れたカマリネ州の地方では、人々はココナッツを売って暮らしていて、その値段が安すぎるために、収入が少ないと言う。また、商売の仕方が分からないので、作っている小物などを市場で売ることができないという。このような理由から地方では貧困に陥る人々が多い。その状況に対する FH の支援方法を見ることもできた。

FHはサポートとしてヤギを人々に貸し与えそれを人々が売って、収入の一部とする。一方女性たちはお金を管理することがうまくできず、お酒、たばこやギャンブルなどに使ってしまう現状もあることがわかった。そのような状況から人々を脱却させるために、ＦＨは貯金の方法を人々に教えていた。それによって人々はお金の使い道を考えることができ、ちゃんとした生活を送れるようにサポートしている。今回の異文化実習では、メディアで見えてこない部分を見ることができた。また FH は人々に物で支援するだけではなくて、貧困から脱却するためのノウハウを教えているのでとても興味深かった。

小学校で給仕の実習

独立運動の英雄ホセ･リサール公園を見学

スラ地区の小学校の授業参加で子どもたちに折り紙学習

実習を終えてFHフィリピンから修了書をいただきました

チャレンジの連続でした

伊東実結（いとうみき）さん

フィリピンに滞在して 26 日間に亘る学びを通して、マニラとビコールでの生活と、ＦＨフィリピンの活動から多くのチャレンジを受けました。

滞在 2 週目、寄生虫による下痢に悩まされて、一週間ほどベッドで過ごしました。その間、毎日のように起きる停電によって、蒸し暑い昼下がりにクーラーとトイレが機能しない時間

を過ごし、おかゆが食べたいのに宿の方からは肉類を強く勧められ、その他さまざまなことを体験しました。回復した後もストレスで 2 回ほど発熱し、言葉の壁にぶつかり、病気に対して持つ日本人とフィリピン人との認識の違いに戸惑う中、何のためにフィリピンを訪れたのかを自問することが多々ありました。

フィリピンへと旅立つ準備をしていた時、無意識のうちに上から目線で出発を待ち望んだ日々を思い出します。しかし、現実にはフィリピンで周囲の人々から祈られ、仕えられ、身の回りの世話をしてもらう日々を送りました。帰国後、私の見えていなかった部分にある、高慢さに光が当てられた気がしました。私にとってこの実習はチャレンジの連続でしたが、今は感謝に満ちています。

都市部と田舎で感じる貧しさの違い

田口昂洋（たぐちこうよう）さん

今回は、貧しさとは何なのか考えさせられる実習でした。ビコール地区という、フィリピンでも貧しい地域にいたのですが地元の人の顔がいつもにこやかな表情で、いつも幸せそうな顔をしていると感じました。一方首都マニラでは人々の表情が硬く、笑顔が少ない印象を受けました。大都市で住んでいる人たちはなぜか幸せそうには見えませんでした。ビコールではもっと物乞いやスリなどに被害があると思ったのですが、一定の場所でしか物乞いなどに会わない状態でした。

逆に多くの方々が食事を提供してくれたり、フルーツや食べ物を持たせてくれたりしました。生活は楽ではないのに与えてくださることが多かったです。

現地のスタッフの多くが語っていたのは、田舎からマニラに行って、あまりにも物価が高いため生活ができない状態になり、故郷に帰るお金もないので貧しい生活をするしかない状態になっている人が多いということでした。

日本国際飢餓対策機構と東京基督教大学とは、「人材の育成と地域と国際社会への貢献に寄与することを目的として、広範な分野で知的・人的・物的資源を活用して、相互に協力する」という協定を結んでいます。

世界食料デー現地報告者インタビュー

ボリビアから一時帰国している、**小西小百合スタッフ**に尋ねました

良いリーダーが育ってきたことがうれしい

Q ボリビアでの今の役割は

ハンガーゼロ支援地域アドバイザーとして、ボリビアの２つの貧しい地域での子どもの教育支援（チャイルドサポーター）と地域の自立開発支援をしています。その中で特に人を育てる働きに重点を置いています。

Q 最近特に良かったと思えることは

アサワニ地区ヤルビコヤ村のリーダー訓練と保健衛生指導の成果が見えてきたことです。ここはアイマラ族が暮している地域で、男尊女卑の習慣が根強いところです。子どもや女性を大切に思わない人が多いので、子育てや女性の

健康などにも注意が払われません。そこでスタッフは、一人一人の命は神様から頂いた尊いものだから、大切にしないといけないことを繰り返し伝えてきました。

その結果１人の若いお父さん、エリアスさん（写真㊧の男性）が家族の一人一人の大切さに目を開かれて、ボランティアの保健衛生プロモーターに立候補して訓練会に参加するようになりました。訓練会では、病気になるのは悪霊がついたり呪われたりしたからではなく、原因となる細菌や感染経路を考えてもらいます。また、病気の予防や妊婦の健康、０～５歳の子が育つために気をつけることなどを学びます。そして定期的に子どもの体重と身長を測定し、発育状態を把握して栄養不良の予防に役立てています。プロモーターは訓練で学んだことを他の親たちに教える働きをします。エリアスさんは自分の家族だけではなく村の人に仕えたいと、家庭訪問をして指導もしています。普通男性はしない、自分の子どもを背負うなどして、女性を助ける実践をしそれによって夫婦関係もよくなることを伝えるなど、回りの人々にとてもよい影響を与えています。

このように良いリーダーが育っているのでうれしいし、本当によかったと思っています。

Q では子どもの教育支援はどうですか

私は３人の地域スタッフのアドバイザーをしています。学用品の配布なども一部は親にお金を出してもらって、依存心をもたせない取り組み方のアドバイスなどをしています。

また子どもが自分のことだけではなく人のことも考えて行動する人になれるように、スタッフには、子どもの頃からリーダーとしての心を育てるような関わり方をしていくようにと話しています。何事も地域の人が自分たちの力で出来るようになることを目指しつつ、現在はできるだけスタッフを通して関わるように心がけていますが、学校に来るのが困難な子の家庭訪問などを直接行って家族の相談に乗ったりすることもあります。

Q 今年の世界食料デーで伝えたいことは

日本の皆さんにとってボリビアは遠い国だと思いますが、その国の現状や課題を紹介して理解して頂きたいと思っています。また一人の価値観の変革によってその地域が変わり、後に続く子どもが夢を持って生きていくことができること、そしてそれは支援者の皆さんの協力によってできるということを伝えたいです。長期の支援によって計画性を持って地域の人に関わることができます。長い期間励ましを受ける継続支援が、人や地域を変えることになりますので、是非**継続的に支援をお願いしたい**と思っています。

［ボリビア・アサワニ地区活動レポート］

本当に不足しているものを気づかせてくれたFH

～マルチン ポマ ラミレスさんとその家族～

FH ＝国際飢餓対策機構

マルチン　ポマ　ラミレスさんは妻と4人の娘たちとチョンゴ地域に住んでいます。娘の２人はチャイルドサポーターの支援を受けています。長男、長女、次女はすでに結婚してコチャバンバに住んでいます。マルチンさんと妻は、農業と畜産（羊、鶏）をしながら、それを食べたり、農作物や羊を売ったりして生計を立てています。

人間関係の問題が家庭にも仕事にも影響

マルチンさんは、家族をほとんど顧みない人でした。娘たちの食事にも、また学校の勉強にも関心を示さない父親でした。収入をもっと得るにはどうしたらいいかということだけに執着していました。人間関係の問題で教会にも行かなくなっていました。妻は、家畜の世話で精一杯で、学齢期の娘に関心を寄せる余裕がありませんでした。長男は、勉強をやめて結婚をし、長女、次女もまた学校を辞めて長男に続いて結婚をしました。

FH スタッフは家庭訪問を重ね、４人の娘さんたちにもっと目を向けるようにマルチンさんを励ましました。また、畑の設備を充実させるために、活動への参加を促し、それによってマルチンさんの畑にソーラーテントや灌漑設備が設置され、野菜の生産性が向上しました。これらの活動を通して、マルチンさんと家族は、神の愛を体験し、教会にも行くようになり、不仲だった教会員とも和解しました。さらに、栽培していた農産物の種類を増やし、羊肉や鶏卵のほかに野菜を食べるようにもなりました。マルチンさんは、栄養ある食事と教育が娘たちにとってとても大事だということをよく理解できるようになりました。

チャイルドサポーターの皆さんに感謝します

マルチンさんはこのように語ってくれました。

「チョンゴ地域に FH が来たとき、私は常に物質的なことばかり考えていました。しかし FH のスタッフは神について話をしてくれました。FH スタッフは、私たち家族を訪問してくれ、生活の中で物質的なもの以外に、何が足りないかについて教えてくれました。私は FH の働きから多くのことを学びました。以前は娘たちの栄養や教育について、私たち夫婦は無頓着でした。しかし FH と活動していくうちに、栄養のある食事や教育に対する価値を見出すことができました。今、私の夢は娘たちが高校を卒業し、専門的な職業に就けるようになることです。神様に感謝します。サポーターの皆さんに感謝します。」

※「協賛広告」を募集しています。ウエブにも掲載。詳しくは大阪事務所・碓井まで

ハンガーゼロニュース　第351号　発行日2019年9月20日（毎月20日発行）定価15円

Hunger Zero

ハンガーゼロ（日本国際飢餓対策機構）は、イエス・キリストの精神に基づいて活動する非営利の民間海外協力団体（NGO）です。1981年に誕生して以来、世界の貧困・飢餓問題の解決のために、自立開発協力、教育支援、緊急援助、海外スタッフ派遣、飢餓啓発を行っています。現在は、国際飢餓対策機構連合(Food for the Hungry International Federation)の一員として、18ヵ国60のパートナー団体と協力し、アジア、アフリカ、中南米の開発途上国で、「こころとからだの飢餓」に応える活動をしています。

2020年3月バングラデシュ・スタディキャンプのご案内

日 程：2020年3月6～14日〈9日間〉
費用：19万5,000円
※早割：19万円（12月20日申込まで）
その他諸費用がかかります。
募集人数：12人（最少催行人数10人）
活動内容：国際飢餓対策機構バングラデシュの活動視察。マチュパラ地区でのサポートチャイルドの活動視察、子どもたちの家庭訪問、異文化交流や伝統工芸作りの体験などを予定しています。
募集締め切り：2020年1月6日
問い合わせ：東京事務所

今年もあなたのサポートチャイルドへクリスマスカードを送りませんか

翻訳作業の都合、2019年10月31日㈭を締め切り期日とさせていただきます。

11月以降もクリスマスカードの受付はいたしますが、クリスマスまでにお子様の手元にお届けできない場合がございますので、ご了承ください。できる限りお早目に事務局までお送りください。
（尚、プレゼントの同封はご遠慮ください。また寄せ書きのお名前にはフリガナをお願いします）

2020年版「国際協力カレンダー」好評発売中です

2020年版は、子どもたちの笑顔や躍動感あふれる写真などで構成されたオリジナル版です。開発途上にある国に暮らす人々、特に将来を担う子どもたちが、飢えることなく食べ、元気に遊び、学び、平和に暮らすことができるようにとの願いを込めて作成しました。

新カレンダーの特長
- 数字が太く見やすくなりました。
- 便利な書き込みスペース。
- 販売益の一部がハンガーゼロの活動に用いられます。
- 消費税率の変更、送料など諸経費高騰のおり、従来のB4サイズを見直してA4サイズ（使用時は高42cm×巾29cm）に改訂することで、送料込みの価格が実現しました。（但し例外もあります。下記参照）

【価格】1冊1,100円（税、送料込）
※国内へのお届けに限ります。
※3冊までは郵便、レターパックで送料込みでお届け。（沖縄・北海道も含む）
※4冊以上は宅配便で送料込みでお届け。恐れ入りますが北海道と沖縄は1梱包つき800円をご負担いただきます。

【お支払い】後払い
お申し込み：㈱キングダムビジネス
スマートホンは上記QRコードから
電話注文：06-6755-4877

Child Supporter チャイルドサポーター

新しいパンフレットが出来ました！

チャイルドサポーターご案内の新しいパンフレットができました。是非ご利用ください。連絡くださればお送りいたします。
またLINE登録もお願いします。
LINEでも情報配信しています。

LINE こちら▶

※▶記入後にスマホで撮影し、下記メールアドレスにお送り頂いても受付いたします。

サポーターお申込み欄 FAX072-920-2155

ふりがな 氏名	
(TEL)	
住所	〒
申込日	年　月　日　NL 351号

✓	下記から希望されるものをお申し込みください
□	ハンガーゼロサポーターとして協力します。 ①毎月（　）□（1□1,000円） ②一時募金として　円協力します。
□	継続募金（JIFHサポーター）として協力します。 毎月（　）□　（1□500円）
□	チャイルドサポーター（子ども1人毎月4,000円）の説明書（申込書）を送ってください。
□	郵便自動引落し申込書を送って下さい。
□	その他の銀行自動引落し申込書を送って下さい。

上の申込書をコピーして必要事項を記入の上、FAXまたは郵送にて大阪事務所までお送りください。届きましたら確認書類等を送らせていただきます。**お電話やウエブサイトでも申し込みできます。**

Hunger Zero サポーター　現在…4644口

■発行者　清家弘久
■発行所　一般財団法人 日本国際飢餓対策機構
ハンガーゼロで検索！
Webサイトアドレス　http://www.hungerzero.jp
eメールアドレス　general@jifh.org
フェイスブック　facebookでハンガーゼロで検索

■募金方法　※各種方法で随時受付中、詳しくは電話やウエブサイトで
①郵便振替　00170-9-68590　一般財団法人日本国際飢餓対策機構
②他の金融機関からの自動振替③クレジット、デジタルコンビニ

「つながる募金」（旧かざして募金）に変わりました。ソフトバンクスマホの方は、Tポイントで募金ができます。

大阪（広島）　〒581-0032 八尾市弓削町3-74-1
TEL (072)920-2225　FAX (072)920-2155
東京（東北）　〒101-0062 千代田区神田駿河台2-1 OCCビル517号室
TEL (03)3518-0781　FAX (03)3518-0782
愛知　〒460-0012 名古屋市中区千代田2-19-16 千代田ビル3F
TEL (052)265-7101　FAX (052)265-7132
沖縄　〒900-0033 那覇市久米2-25-8 メゾン久米202号
TEL (098)943-9215　FAX (098)943-9216
USA　Ainote International c/o Mr. Takehiko Fujikawa
8010 Phaeton Dr. Oakland, CA94605
TEL(510)568-4939　FAX(510)293-0940

Hunger Zero　JIFH　チャイルドサポーター

●Tポイントを利用して「南スーダン・マブイ小学校給食支援」ができます。現在までに729229ポイント（円）のご協力（8511件）がありました。Tポイント募金で検索。
●「つながる募金」はスマートフォンからご利用できます。募金は、ソフトバンクモバイル(株)経由となります。詳しくはウエブサイトをご覧ください。